

天皇杯 第 50 回記念日本車いすバスケットボール選手権大会
実施要綱

1 目的

車いすバスケットボールのクラブ日本一を決定する国内唯一の大会として開催する。
大会を通して、障がいのある人もない人も共に高め合う共生社会の実現を図り、車いすバスケットボールの価値を高め、永続的に魅力ある大会を目的とする。

2 名称

天皇杯 第 50 回記念日本車いすバスケットボール選手権大会 ※以下「本大会」とする

3 期日

2025 年 1 月 31 日(金)～2 月 2 日(日) ※1 月 30 日は設営日

4 会場

東京体育館
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1

5 主催

一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟
公益財団法人日本パラスポーツ協会
公益財団法人日本バスケットボール協会

6 主管

天皇杯 第 50 回記念日本車いすバスケットボール選手権大会 実行委員会 ※以下「本大会実行委員会」とする

7 後援(予定)

スポーツ庁、東京都、渋谷区、日本障がい者バスケットボール連盟、社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団、社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団、社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団、社会福祉法人読売光と愛の事業団、公益財団法人毎日新聞東京社会事業団、公益財団法人昭和池田記念財団、公益財団法人日本チャリティ協会
(順不同)



8 大会協賛社

<大会スペシャルパートナー>

サントリーホールディングス株式会社、三菱電機株式会社

<大会オフィシャルパートナー>

日本生命保険相互会社、株式会社 IHI

<大会オフィシャルサポーター>

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、トヨタ自動車株式会社、株式会社みずほフィナンシャルグループ、味の素株式会社、日本航空株式会社、株式会社松永製作所、株式会社 JTB、清水建設株式会社、三菱製鋼株式会社、株式会社 WOWOW、東洋紙業株式会社、PwC Japan グループ

9 本大会の出場権

下記(1)～(2)に該当するチーム、計 16 チームへ出場権を与える。

(1) 第 1 次予選会の結果から、各ブロックの優勝チーム(10 ブロック 10 チーム)

(2) 第 2 次予選会の結果から計 6 チーム

- ① 東日本第 2 次予選会の上位 3 チーム
- ② 西日本第 2 次予選会の上位 3 チーム

10 参加資格

- ① 2024 年度において一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟に加盟登録されたチームであること。
- ② 2024 年度において一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟に選手登録された選手・スタッフであること。※当連盟に未登録で活動しているチームスタッフのエントリーも可とする。但し、当連盟が指定するスポーツ安全保険に加入の上参加を認める。当該スタッフは、本大会のエントリー用紙に、チームスタッフとしてエントリーをすること。また、本大会実行委員会が定めるルールに従うこと。また、第 1・2 次予選会の大会にエントリーしていたチーム以外からの出場は認めない
- ③ エントリー締切後の変更は認めない。しかし、変更せざるを得ない状況になった場合は、事前に大会実行委員会に相談を入れること。大会実行委員会にて協議のうえ、判断する。
- ④ 別途、アンチ・ドーピング委員会からの通知による、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構 (JADA) が提供するアスリート向けアンチ・ドーピング学習システムの受講を修了していること。
- ⑤ 主催者にて別途定める新型コロナウイルス感染防止ガイドラインが提示された場合、遵守すること。

11 チーム編成

(1) チームのエントリーは、選手(男・女)15名、スタッフは 1 名のヘッドコーチと、アシスタントコーチを含む最大 8 名のチーム関係者とする。ただし、スタッフが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ出場できない。この場合、選手を兼ねるスタッフを含めて 15 名以内とする。ただし、ベンチに入れる選手は規



程通り、最大 12 名、スタッフは上記の人数とする。

(2) ゲーム開始予定時刻の最低 40 分前には、各ヘッドコーチまたはその代理者は、ゲームに出場することのできるチームメンバーの氏名・番号・持ち点、キャプテン、ヘッドコーチやファーストアシスタントコーチの氏名のリストを大会本部に提出しなければならない。もしゲーム開始後に到着しても、スコアシートに記載されている全てのチームメンバーはゲームに出場することができる。

(3) コート内でプレーする 5 人のプレイヤーの持ち点の合計は 14 点以下でなければならない。なお、コート内でプレーする女子選手がいる場合は、コート内(5 人)のプレイヤーの持ち点合計より女子選手 1 名につき 1.5 点を減算する。同時にコート内でプレーできる女子選手は 2 名までとする。

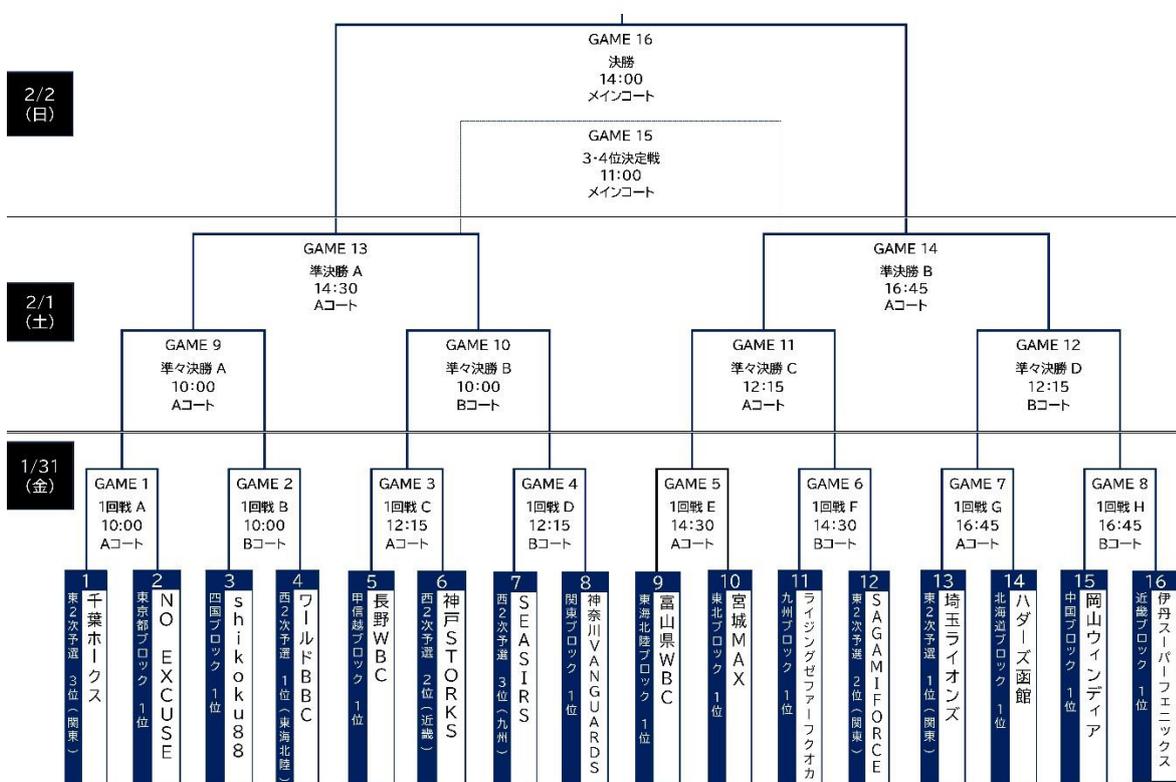
(4) 健常者についても同時にコート内でプレーできる選手は 2 名までとし、女子選手の持ち点優遇措置についても適用する。

12 競技方法

<チーム数>

16 チームによるトーナメント戦ノックアウト方式

<対戦組み合わせ>



スポーツ振興基金助成事業

独立行政法人日本スポーツ振興センター

13 放送・配信

<テレビ放送>

未定

<インターネット配信>

全試合を JWBF 公式 YouTube で配信（録画配信、ライブ配信）

14 チケット販売

全試合、有料チケット販売

15 ドーピング検査

(1)本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。

(2)本大会参加者(18 歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、大会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18 歳未満の競技者については、本大会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。

(3)本大会に参加する 18 歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に必ず持参し携帯して下さい。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト

(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできます。18 歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は 18 歳未満時に 1 回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後 7 日以内に JADA 事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。

(4)本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。

(5)競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 2 時間の安静が必要となるので留意して下さい。

16 競技規則

本年度の車いすバスケットボール競技規則

※2024年12月1日付「2024年 競技規則の変更について」の内容を適用する

(一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟と一部事前協議の規則に基づく)



スポーツ振興基金助成事業
独立行政法人日本スポーツ振興センター

17 審判

一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟が認定した公認審判員(B級公認審判員以上)

18 競技中の事故

競技中に事故が発生した場合の治療費は、スポーツ安全保険の適用とする。また、救急処置については主催者側で対応する。

19 感染症対策

感染状況に応じて、必要な場合にのみ指針を定め、後日関係者へご案内いたします。

20 申込先・問い合わせ先

一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟 事務局

e-mail:jwbfoffice@jwbf.gr.jp TEL:03-6229-5434

21 参加費

20,000 円/チーム

22 申込期限

2024 年 11 月 13 日(水) 15:00

以上

